

病院事業会計

1 業務実績

入院患者数は、延べ63,168人で、前年度に比較し2,104人(3.4%)増加しており、診療科別では、内科3,545人(8.5%)、産婦人科27人(1.6%)、眼科2人(0.4%)で増加し、外科464人(5.4%)、整形外科669人(9.8%)、小児科337人(17.6%)で減少している。

また、病床稼働率は、87.0%で、前年度に比較し3.2ポイント上昇している。

外来患者数は、延べ82,341人で、前年度に比較し466人(0.6%)減少しており、診療科別では、内科で、591人(1.7%)増加し、外科328人(2.6%)、整形外科534人(3.4%)、産婦人科24人(0.5%)、小児科16人(0.3%)、眼科144人(2.5%)、耳鼻いんこう科11人(0.3%)で減少している。

表1 業務実績

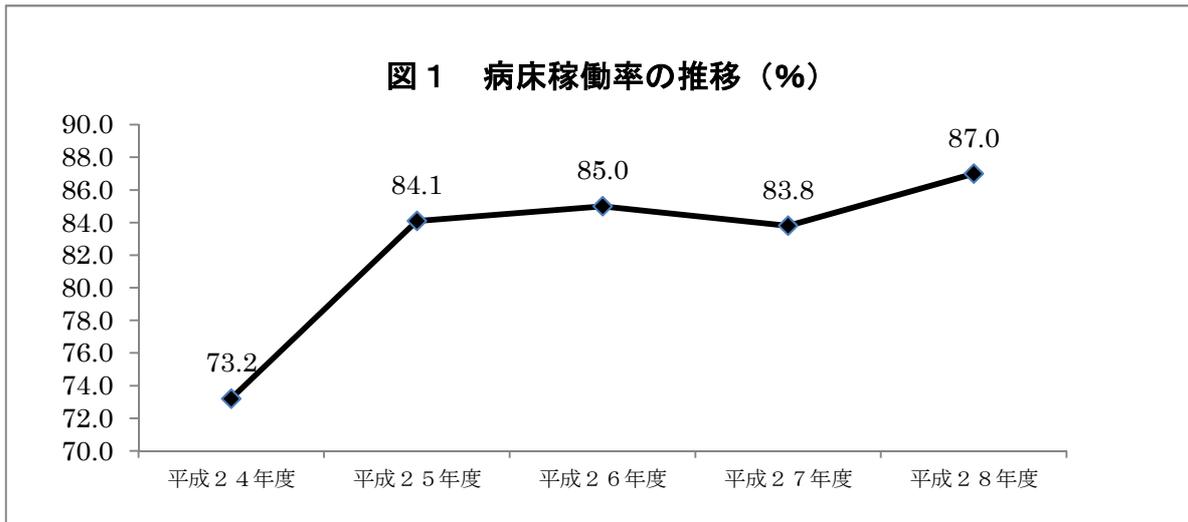
区 分		平成28年度	平成27年度	対前年度増減	増減率 (%)	
入 院	延 べ 患 者 数 (人)	63,168	61,064	2,104	3.4	
	診 療 科 別	内 科	45,133	41,588	3,545	8.5
		外 科	8,112	8,576	△464	△5.4
		整 形 外 科	6,131	6,800	△669	△9.8
		産 婦 人 科	1,740	1,713	27	1.6
		小 児 科	1,581	1,918	△337	△17.6
		眼 科	471	469	2	0.4
		耳鼻いんこう科	0	0	0	—
		1日平均患者数(人)	173.1	166.8	6.3	3.8
	病 床 稼 働 率 (%)	87.0	83.8	3.2	3.8	
外 来	延 べ 患 者 数 (人)	82,341	82,807	△466	△0.6	
	診 療 科 別	内 科	35,724	35,133	591	1.7
		外 科	12,150	12,478	△328	△2.6
		整 形 外 科	15,315	15,849	△534	△3.4
		産 婦 人 科	4,633	4,657	△24	△0.5
		小 児 科	5,555	5,571	△16	△0.3
		眼 科	5,590	5,734	△144	△2.5
		耳鼻いんこう科	3,374	3,385	△11	△0.3
		1日平均患者数(人)	338.9	340.8	△1.9	△0.6

(注) 病床稼働率：入院患者数／延病床数×100

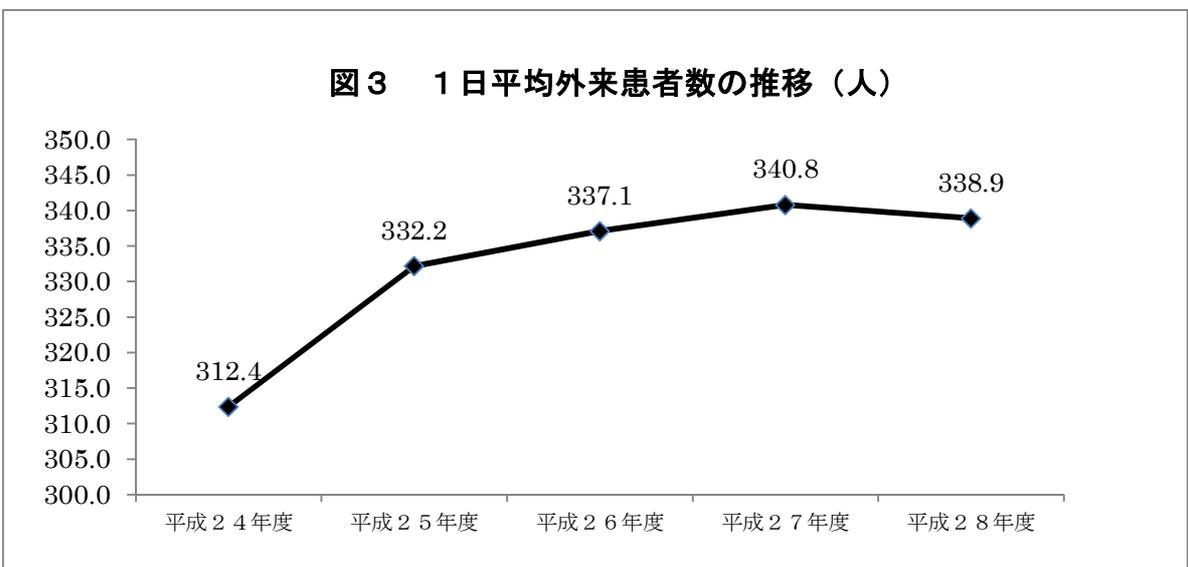
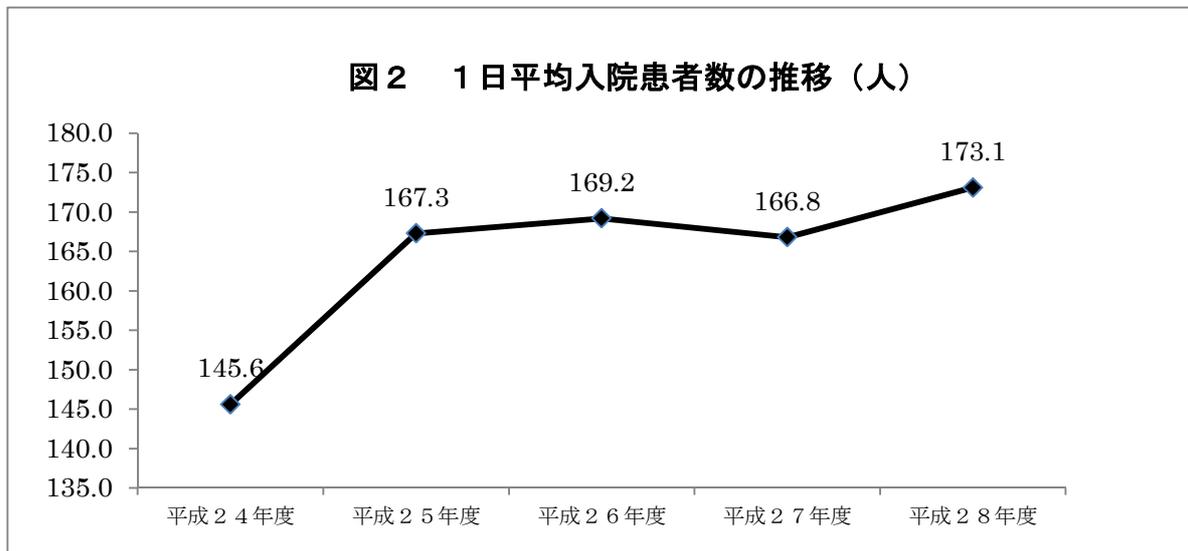
病 床 数：199床

平成28年度診療日数：入院 365日 外来 243日

平成27年度診療日数：入院 366日 外来 243日



*病床稼働率：年間延べ入院患者数／年間延べ許可病床数×100



2 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収益的収入

病院事業収益は、予算額49億1,988万円に対し決算額は49億4,243万円(収入割合100.5%)で、予算額に比べ2,255万円の増額である。

予算額に比べ増額となった主なものは、営業収益の入院収益594万円、公衆衛生活動収益515万円、医療相談収益818万円、営業外収益のその他営業外収益558万円である。

表2 予算執行状況(収益的収入) (単位:円,%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入割合
病 院 事 業 収 益	4,919,879,000	4,942,427,759	22,548,759	100.5
営 業 収 益	4,524,845,000	4,541,799,706	16,954,706	100.4
営 業 外 収 益	394,034,000	399,656,851	5,622,851	101.4
特 別 利 益	1,000,000	971,202	△28,798	97.1

イ 収益的支出

病院事業費用は、予算額54億1,478万円に対し決算額は51億9,943万円(執行率96.0%)で、不用額は2億1,535万円である。

不用額の主なものは、営業費用の給与費6,635万円、材料費2,735万円、経費4,173万円及び特別損失の1,939万円である。

表3 予算執行状況(収益的支出) (単位:円,%)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
病 院 事 業 費 用	5,414,781,000	5,199,430,692	215,350,308	96.0
営 業 費 用	5,193,731,000	5,056,293,612	137,437,388	97.4
営 業 外 費 用	161,050,000	132,527,856	28,522,144	82.3
特 別 損 失	30,000,000	10,609,224	19,390,776	35.4
予 備 費	30,000,000	—	30,000,000	—

(2) 資本的収入及び支出

ア 資本的収入

資本的収入は、予算額2億8,501万円に対し決算額は2億7,811万円(収入割合97.6%)、予算額に比べ690万円の減額である。

予算額に比べ減額となったものは、企業債690万円である。

表4 予算執行状況（資本的収入）

（単位：円，％）

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入割合
資 本 的 収 入	285,010,000	278,110,000	△6,900,000	97.6
企 業 債	88,700,000	81,800,000	△6,900,000	92.2
出 資 金	196,275,000	196,275,000	0	100
寄 附 金	35,000	35,000	0	100

イ 資本的支出

資本的支出は、予算額7億3,667万円に対し決算額は7億2,256万円（執行率98.1％）で、不用額は1,411万円である。

不用額は、建設改良費1,041万円と投資371万円である。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額4億4,445万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額617万円、過年度分損益勘定留保資金4億3,828万円で補填している。

表5 予算執行状況（資本的支出）

（単位：円，％）

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率
資 本 的 支 出	736,669,000	722,555,754	14,113,246	98.1
建 設 改 良 費	93,731,000	83,324,782	10,406,218	88.9
企 業 債 償 還 金	370,603,000	370,602,407	593	100.0
他 会 計 か ら の 長期借入金償還金	262,300,000	262,300,000	0	100
投 資	10,000,000	6,293,565	3,706,435	62.9
基 金 造 成 費	35,000	35,000	0	100

表6 建設改良費の概要

（単位：千円）

区 分	内 容	所 属	金 額
器 械 備 品 購 入	超音波診断装置	産婦人科	3,564
	腹腔・胸腔ビデオスコープ	中央材料・手術室	3,013
	ジェネレーター一式	中央材料・手術室	1,361
	放射線画像サーバー拡張	放射線科	3,780
	X線透視診断装置	放射線科	26,676
	画像解析ワークステーション	放射線科	16,200
	テロスストレスデバイス	放射線科	1,499
	微生物由来成分分析装置	臨床検査科	2,689
	全自動血液凝固測定装置	臨床検査科	3,499
	能動型自動間欠牽引装置	リハビリ	2,160

3 経営成績

(1) 病院事業収益

病院事業収益は、決算額 49 億 714 万円で、前年度に比較し 1 億 7,214 万円 (3.6%) 増加している。

ア 営業収益

営業収益は、決算額 45 億 1,181 万円で、前年度に比較し 1 億 2,489 万円 (2.8%) 増加しているが、これは主に入院収益が増加したことによるものである。

イ 営業外収益

営業外収益は、決算額 3 億 9,436 万円で、前年度に比較し 4,663 万円 (13.4%) 増加しているが、これは主に他会計負担金・補助金の増加によるものである。

ウ 特別利益

特別利益は、決算額 97 万円で、給与費の返還が主なものである。

(2) 病院事業費用

病院事業費用は、決算額 51 億 9,920 万円で、前年度に比較し 9,062 万円 (1.8%) 増加している。

ア 営業費用

営業費用は、決算額 49 億 6,463 万円で、前年度に比較し 1 億 398 万円 (2.1%) 増加しているが、これは主に給与費の増加と入院患者増加による材料費の増加によるものである。

イ 営業外費用

営業外費用は、決算額 2 億 2,403 万円で、前年度に比較し 526 万円 (2.3%) 減少しているが、これは主に、企業債利息の減少によるものである。

ウ 特別損失

特別損失は、決算額 1,054 万円である。

これは主に、診療報酬の過年度損益修正分と給与費の過年度分追加支給分である。

(3) 当年度純損益

病院事業収益から病院事業費用を差し引いた当年度純損失は 2 億 9,206 万円である。

前年度繰越欠損金 112 億 4,486 万円に当年度純損失を加えた当年度未処理欠損金は、115 億 3,692 万円である。

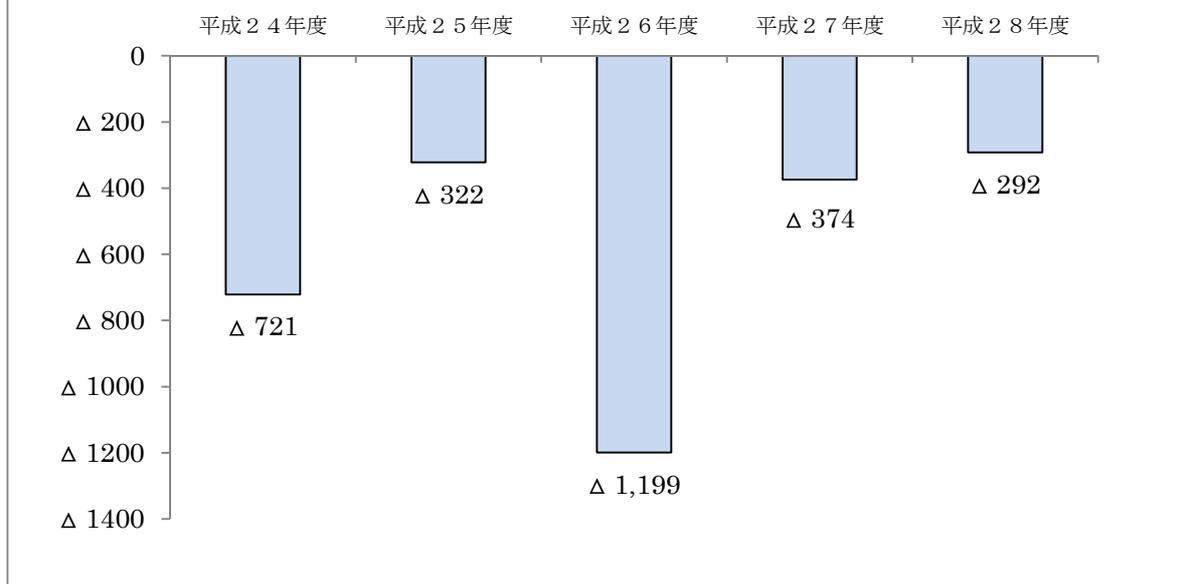
表7 損益の状況

(単位：円,%)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度増減	増減率
病院事業収益	4,907,137,039	4,734,995,339	172,141,700	3.6
営業収益	4,511,808,568	4,386,914,570	124,893,998	2.8
入院収益	2,860,903,460	2,753,517,155	107,386,305	3.9
外来収益	1,023,198,487	1,011,825,592	11,372,895	1.1
その他営業収益	627,706,621	621,571,823	6,134,798	1.0
営業外収益	394,360,913	347,728,013	46,632,900	13.4
受取利息	33,687	22,389	11,298	50.5
他会計負担金・補助金	311,247,000	244,845,000	66,402,000	27.1
補助金	1,802,000	2,248,000	△446,000	△19.8
患者外給食収益	46,544	75,372	△28,828	△38.2
長期前受金戻入	5,035,000	5,362,660	△327,660	△6.1
その他営業外収益	76,196,682	95,174,592	△18,977,910	△19.9
特別利益	967,558	352,756	614,802	174.3
過年度損益修正益	967,558	352,756	614,802	174.3
病院事業費用	5,199,195,724	5,108,576,478	90,619,246	1.8
営業費用	4,964,625,787	4,860,648,939	103,976,848	2.1
給与費	2,844,141,731	2,750,042,304	94,099,427	3.4
材料費	815,159,606	772,369,701	42,789,905	5.5
経費	676,158,689	710,647,013	△34,488,324	△4.9
減価償却費	615,274,351	616,359,813	△1,085,462	△0.2
資産減耗費	4,068,988	1,169,960	2,899,028	247.8
研究研修費	9,822,422	10,060,148	△237,726	△2.4
営業外費用	224,025,812	229,282,584	△5,256,772	△2.3
支払利息及び企業債取扱諸費	108,361,114	112,444,968	△4,083,854	△3.6
患者外給食材料費	1,700,318	1,738,517	△38,199	△2.2
雑損失	113,964,380	115,099,099	△1,134,719	△1.0
特別損失	10,544,125	18,644,955	△8,100,830	△43.4
過年度損益修正損	10,544,125	18,644,955	△8,100,830	△43.4
営業利益	△452,817,219	△473,734,369	20,917,150	△4.4
経常利益	△282,482,118	△355,288,940	72,806,822	△20.5
当年度純損益	△292,058,685	△373,581,139	81,522,454	△21.8

(注) 損益計算書の収益合計は、仮払消費税及び地方消費税を含まず、かつ納税計算上の調整があるため、収益的収入決算額とは一致しない。また、損益計算書の費用合計は、仮払消費税及び地方消費税を含まず、かつ納税計算上の調整があるため、収益的支出決算額とは一致しない。

図4 当年度損益の推移（百万円）



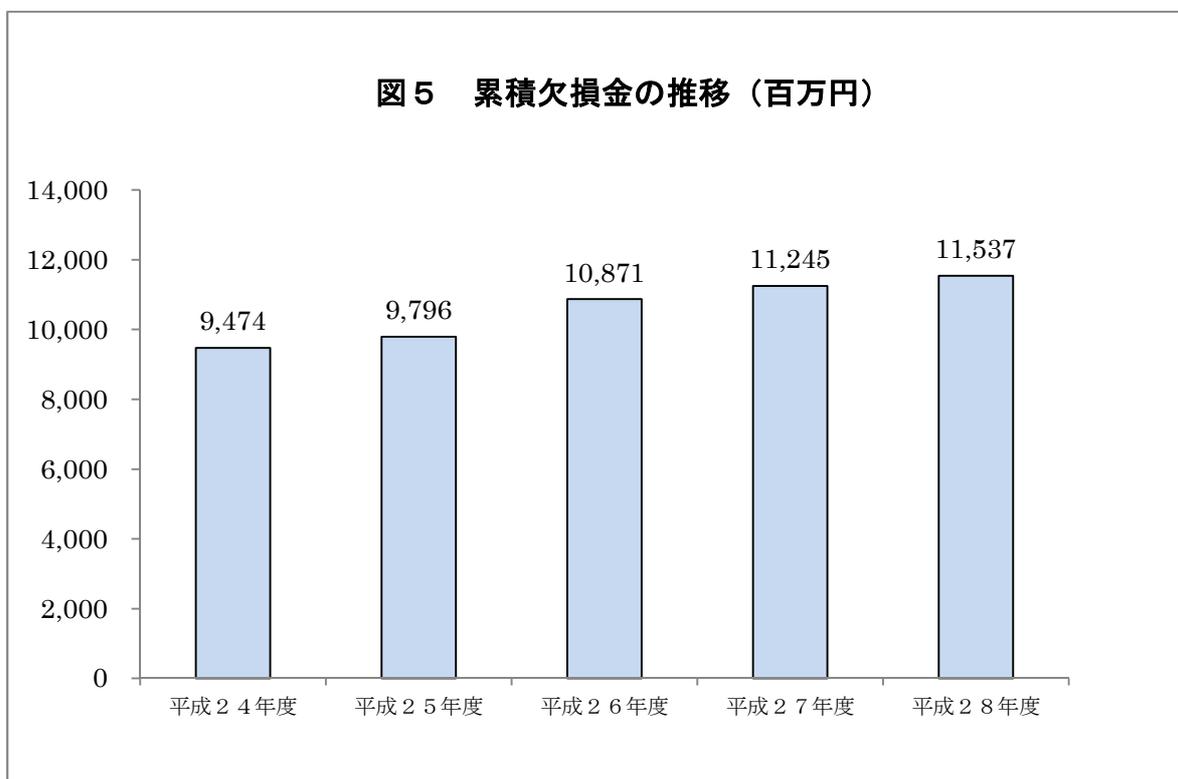
*平成26年度以降の数値は新会計基準により算出したものであり、平成25年度以前の数値と単純に比較することはできない。

表8 累積欠損金の推移

(単位：千円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
病院事業	9,473,941	9,796,092	10,871,279	11,244,860	11,536,919

図5 累積欠損金の推移（百万円）



4 財政状態

(1) 資産

資産は、67億8,743万円で、前年度に比較し5億1,945万円(7.1%)減少している。

固定資産は、58億6,758万円で、前年度に比較し5億3,586万円(8.4%)減少しているが、これは主に建物および器械備品の減価償却によるものである。

流動資産は、9億1,985万円で、前年度に比較し1,641万円(1.8%)増加しているが、これは主に現金預金が増加したことによるものである。

(2) 負債

負債は、111億2,681万円で、前年度に比較し4億2,367万円(3.7%)減少している。

固定負債は、99億6,712万円で、前年度に比較し3億6,147万円(3.5%)減少しているが、これは主に企業債及び他会計借入金の償還によるものである。

流動負債は、11億3,906万円で、前年度に比較し5,720万円(4.8%)減少しているが、これは主に未払金が増加した事によるものである。

繰延収益は、2,064万円で、前年度に比較し500万円(19.5%)減少しているが、長期前受金収益化累計額が増加したことによるものである。

(3) 資本

資本は、△43億3,939万円で、前年度に比較し9,578万円(2.3%)が増加している。

剰余金は、△115億2,212万円で、前年度に比較し2億9,206万円(2.6%)欠損金が増加している。

表9 貸借対照表

(単位：円，%)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度増減	増減率
資 産	6,787,427,233	7,306,880,302	△519,453,069	△7.1
固定資産	5,867,578,968	6,403,441,166	△535,862,198	△8.4
有形固定資産	5,802,297,095	6,344,487,858	△542,190,763	△8.5
土地	41,192,671	41,192,671	0	0
建物	5,157,863,385	5,571,436,662	△413,573,277	△7.4
器械備品	603,028,076	731,858,525	△128,830,449	△17.6
車両	212,963	—	212,963	皆増
投資	65,281,873	58,953,308	6,328,565	10.7
長期貸付金	30,543,120	24,249,555	6,293,565	26.0
基金	34,738,753	34,703,753	35,000	0.1
流動資産	919,848,265	903,439,136	16,409,129	1.8
現金・預金	295,262,260	265,715,528	29,546,732	11.1
未収金	637,958,720	654,497,844	△16,539,124	△2.5
貸倒引当金	△13,401,570	△16,803,091	3,401,521	△20.2
貯蔵品	28,855	28,855	0	0
負債・資本合計	6,787,427,233	7,306,880,302	△519,453,069	△7.1
負債	11,126,814,202	11,550,483,586	△423,669,384	△3.7
固定負債	9,967,120,714	10,328,588,019	△361,467,305	△3.5
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,103,129,622	6,372,616,667	△269,487,045	△4.2
他会計借入金	3,092,610,000	3,233,910,000	△141,300,000	△4.4
退職給付引当金	771,381,092	722,061,352	49,319,740	6.8
流動負債	1,139,058,120	1,196,260,199	△57,202,079	△4.8
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	351,287,045	370,602,407	△19,315,362	△5.2
他会計借入金	291,300,000	262,300,000	29,000,000	11.1
未払金	318,497,020	393,010,145	△74,513,125	△19.0
賞与引当金	157,130,713	144,314,225	12,816,488	8.9
その他流動負債	20,843,342	26,033,422	△5,190,080	△19.9
繰延収益	20,635,368	25,635,368	△5,000,000	△19.5
長期前受金	55,108,457	55,073,457	35,000	0.1
長期前受金収益 化 累 計 額	△34,473,089	△29,438,089	△5,035,000	17.1
資本	△4,339,386,969	△4,243,603,284	△95,783,685	2.3
資本金	7,182,732,307	6,986,457,307	196,275,000	2.8
剰余金	△11,522,119,276	△11,230,060,591	△292,058,685	2.6
資本剰余金	14,800,000	14,800,000	0	0
受贈資産寄附金	14,800,000	14,800,000	0	0
利益剰余金	△11,536,919,276	△11,244,860,591	△292,058,685	2.6
当年度未処理欠損金	11,536,919,276	11,244,860,591	292,058,685	2.6

(注) 有形固定資産のうち、償却資産については直接控除方式によって表示している。

28年度減価償却累計額 … 建物2,918,015,713円, 器械備品1,197,153,722円

27年度減価償却累計額 … 建物2,509,197,436円, 器械備品1,072,111,560円

【企業債及び長期借入金の推移】

企業債の推移は、表 1 0 並びに図 6、長期借入金の推移は表 1 1 並びに図 7 のとおりである。

表 1 0 企業債の推移

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
発行額	4,677,500	30,000	40,000	144,200	81,800
償還額	674,924	263,177	328,029	342,550	370,602
残 高	7,462,775	7,229,598	6,941,569	6,743,219	6,454,417

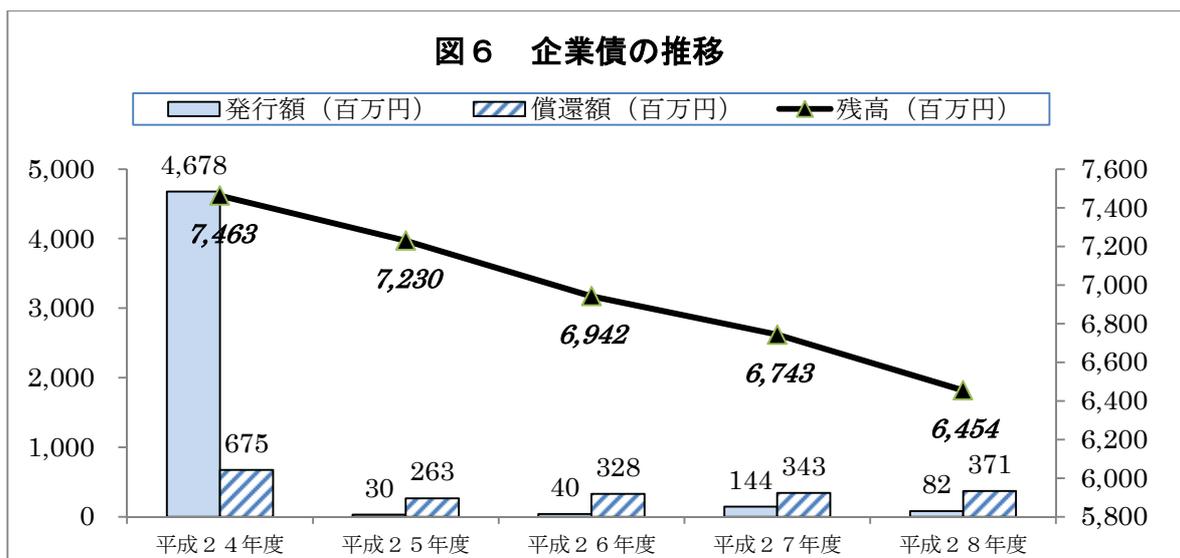
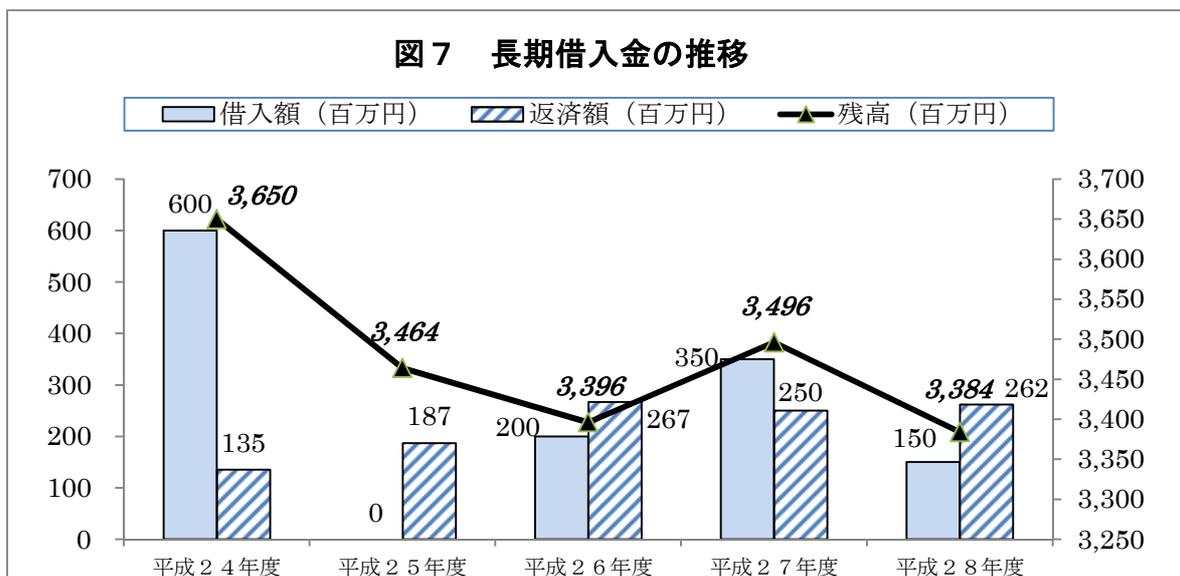


表 1 1 長期借入金の推移

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
借入額	600,000	0	200,000	350,000	150,000
返済額	134,690	186,700	267,300	250,100	262,300
残 高	3,650,310	3,463,610	3,396,310	3,496,210	3,383,910



(4) 資金収支

業務活動によるキャッシュ・フローは、3億1,782万円で、前年度に比較し入院収益が増加したことなどにより1億円増加している。投資活動によるキャッシュ・フローは、△8,345万円で、前年度に比較し有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより5,840万円増加している。財務活動によるキャッシュ・フローは、△2億483万円で、前年度に比較し建設改良費の財源に充てるための企業債による収入及びその他の他会計借入金による収入が減少したことなどにより、2億8,823万円減少している。

この結果、当年度は2,955万円の資金が増加し、資金期末残高は2億9,526万円となっている。

表12 キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度増減
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	△292,058,685	△373,581,139	81,522,454
減価償却費	615,274,351	616,359,813	△1,085,462
引当金の増減額 (△は減少)	58,734,707	△28,073,576	86,808,283
長期前受金戻入額	△5,035,000	△5,362,660	327,660
受取利息及び受取配当金	△33,687	△22,389	△11,298
支払利息	108,361,114	112,444,968	△4,083,854
未収金の増減額 (△は増加)	16,539,124	△11,566,985	28,106,109
未払金の増減額 (△は減少)	△74,513,125	15,136,424	△89,649,549
預り金の増減額 (△は減少)	△5,190,080	3,737,822	△8,927,902
その他	4,068,988	1,169,960	2,899,028
小計	426,147,707	330,242,238	95,905,469
利息及び配当金の受取額	33,687	22,389	11,298
利息の支払額	△108,361,114	△112,444,968	4,083,854
業務活動によるキャッシュ・フロー	317,820,280	217,819,659	100,000,621
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△77,152,576	△138,209,930	61,057,354
貸付による支出及び投資返還金	△6,293,565	△3,634,762	△2,658,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,446,141	△141,844,692	58,398,551
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	81,800,000	144,200,000	△62,400,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△370,602,407	△342,550,311	△28,052,096
その他の他会計借入金による収入	150,000,000	350,000,000	△200,000,000
その他の他会計借入金の返済による支出	△262,300,000	△250,100,000	△12,200,000
他会計からの出資による収入	196,275,000	181,852,000	14,423,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,827,407	83,401,689	△288,229,096
資金増減額	29,546,732	159,376,656	△129,829,924
資金期首残高	265,715,528	106,338,872	159,376,656
資金期末残高	295,262,260	265,715,528	29,546,732

(注) キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における現金等(現金預金)の増減を、業務活動、投資活動及び財務活動に分けて表示したものである。

5 経営指標

(1) 経営の健全性及び効率性

ア 営業収支比率

この指標は、経常収支比率とともに病院の収益性を見る代表的指標である。営業費用が営業収益で賄われるか、また、どの程度の収益率をあげているかを見るもので、これが100%未満の場合は営業費用を営業収益で賄えないことになり経営は健全でないことになる。

営業収支比率の推移

(単位：%)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	89.0	94.6	94.7	90.3	90.9
類似団体平均値	87.8	86.3	85.0	84.8	

(注) 1 営業収支比率：営業収益／営業費用×100

2 類似団体平均値は、兵庫県より公表されている「新公立病院改革プランに基づく取り組みについて・経営分析比較表」(病床数100床以上200床未満)の数値を引用している。平成28年度数値については、未発表(以下同様)。

イ 経常収支比率

この指標は、営業費用、営業外費用に対する営業収益、営業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を表す指標である。100%以上の場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を表す。

経常収支比率の推移

(単位：%)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	84.7	93.9	93.5	93.0	94.6
類似団体平均値	96.9	96.1	96.7	98.1	

(注) 経常収支比率：経常収益／経常費用×100

ウ 累積欠損金比率

この指標は、各事業年度において発生した損失(赤字)額を未処理欠損金として振り替えたもののうち、繰越利益剰余金等で補てんできなかつたものの累積された赤字である。したがって、この比率が高いほど、単年度の営業収益に比べて累積欠損金が多いということになる。

累積欠損金比率の推移

(単位：%)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	267.3	234.4	250.3	256.3	255.7

(注) 累積欠損金比率：当年度未処理欠損金／営業収益×100

エ 資金不足比率

この指標は、地方財政健全化法に基づき、各公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものである。

資金不足比率の推移

(単位：%)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 資金不足比率：(流動負債＋建設改良費等以外の経費の財源等に充てるために起こした地方債の現在高－流動資産)／事業規模(営業収益)

(2) 収入確保・経費節減

ア 病床稼働率

この指標は、病院が提供することのできる病床を利用者である入院患者がどの程度利用したかを示すものであり、収益に関する分析の上で、極めて重要な指標である。

病床稼働率の推移

(単位：%)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	73.2	84.1	85.0	83.8	87.0
類似団体平均値	67.9	67.1	66.7	68.2	

(注) 病床稼働率：年間延べ入院患者数／年間延べ許可病床数×100

イ 患者1人1日あたり入院収益

この指標は、病院の医療機能レベルを端的に表現するほか、受診患者の疾病程度を示すものである。

患者1人1日あたり入院収益の推移

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	42.6	43.3	44.5	45.1	45.3
類似団体平均値	29.7	29.8	30.3	31.0	

(注) 患者1人1日あたり入院収益：入院収益／年間延べ入院患者数

ウ 患者1人1日あたり外来収益

患者1人1日あたり外来収益の推移

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	10.1	11.5	11.9	12.2	12.4
類似団体平均値	8.9	9.0	9.2	9.5	

(注) 患者1人1日あたり外来収益の推移：外来収益／年間延べ外来患者数

エ 病床 100 床あたり職員数

病床 100 床あたり職員数の推移

(単位：人)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	131.6	121.4	133.8	138.8	137.2
類似団体平均値	103.8	105.4	107.5	108.7	

(注) 病床 100 床あたり職員数：年度末職員数／年度末病床数
職員数には臨時職員及び嘱託職員を含む

オ 患者紹介率

患者紹介率の推移

(単位：%)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	56.6	62.2	71.5	40.4	41.0

(注) 患者紹介率：文書紹介された患者数及び救急搬送された患者数／初診患者数

カ 平均在院日数

平均在院日数の推移

(単位：日)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	17.6	16.4	14.9	14.0	14.2
類似団体平均値	20.9	20.6	20.3	20.2	

(注) 平均在院日数：年間延べ在院患者数／(年度中の新入院患者数＋退院患者数) × 1/2

キ 薬品使用効率

この指標は、薬品の購入及び使用に伴う収支の状況及び安価での購入努力の度合いを示す数値であり、この比率は高いほど良い。

薬品使用効率の推移

(単位：%)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
芦屋市	57.7	82.0	63.2	68.6	62.6
類似団体平均値	112.1	112.0	110.3	116.6	

(注) 薬品使用効率：薬品収入／薬品払出原価 × 100

以上が病院事業会計の決算状況である。

6 審査のまとめ

(1) 決算の総括

平成28年度における市立芦屋病院の取り組みとしては、「市立芦屋病院中期経営計画（平成26年度～平成30年度）」に基づき、特に「がん診療」を始めとした専門診療機能の充実により、専門の医師、専従スタッフの配置や増員がなされたほか、スタッフの新たな資格の取得や研修の充実も図られた。

平成28年度決算について見ると、業務実績においては、入院患者は、延べ63,168人で、前年度に比較し2,104人（3.4%）増加し、病床稼働率は、87.0%で、前年度と比較し3.2ポイント上昇している。また、外来患者数は延べ82,341人で、前年度に比較し466人（0.6%）減少しているが、入院、外来患者数ともに平成25年度以降、概ね横ばいの推移となっている。

経営状況について見ると、本業の経営成績である営業損益は、営業損失が4億5,282万円で、昨年度より2,092万円減少した。また、経常損益は、経常損失が2億8,248万円と昨年度より7,281万円減少し、これらの結果、当年度純損失は2億9,206万円と過去5年間では最も小さくなったが、累積欠損金は115億3,692万円と若干ではあるが増えた結果となっている。

経営指標について見ると、特に重要な指標である営業収支比率、病床稼働率は、過去5年間、概ね改善傾向となっている。

資金繰りについて見ると、平成28年度においても一般会計からの1億5千万円の長期借入金により資金不足は生じていないが、依然として厳しい状況にある。

(2) 意見

市立芦屋病院は病棟の新改築から5年が経過し、この間、新病院施設の有効活用と一層の診療機能充実に向けた様々な取り組みが行われてきたが、平成28年度においても本市の二次救急医療機関として「断らない救急」を目指すとともに、専門診療の充実が図られてきたところである。

また、経営的には平成28年度も純損失を計上しており累積欠損金が増加することとなったが、企業債の償還が本格化する中においても純損失が過去5年間で最少となり、主な経営指標にも改善傾向が見られるなど一定の収支改善が図られており、地域における魅力ある病院づくりと安定した経営に向けた取り組みが堅実に進められてきたことが窺える決算状況となっている。

芦屋病院を取り巻く社会環境を見ると、慢性的な医師不足であることに加え、将来的には阪神地域における急性期病床が過剰となる見通しが示されており、状況によっては急性期病床の削減が見込まれるなど、厳しい環境の中にある。

こういった中、総務省から新たな公立病院改革ガイドラインが示されたことに伴い、前述の中期経営計画に代わって、新たに「市立芦屋病院新改革プラン（平成29年度～平成33年度）」が策定され、平成29年度以降は本プランに基づき経営改革等が進められることとなった。

については、芦屋病院とされては、本プランに基づく経営改革を進めながら、これからも芦屋市民に寄り添い、市民に必要とされる診療体制、診療機能の充実に引き続き取り組まれ、質の高い医療を安定的に提供されることを望むものである。

以上

決 算 審 査 資 料
(病 院 事 業 会 計)

第 1 表	業務実績表	・ ・ ・ ・ ・	2 2
第 2 表	損益計算書年度比較表	・ ・ ・ ・ ・	2 3
第 3 表	貸借対照表年度比較表	・ ・ ・ ・ ・	2 5

第 1 表 業 務 実 績 表

区 分		平成28年度	平成27年度	対前年度増減	増減率	備 考	
病床稼働率(%)		87.0	83.8	3.2	—	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数(実働可能病床数)}}$	
平均在院日数(日)		14.2	14.0	0.2	1.4	※欄外参照	
1日平均患者数(人)	入 院	173.1	166.8	6.3	3.8	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{入院診療日数}}$	
	外 来	338.9	340.8	△ 1.9	△ 0.6	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}}$	
外来入院患者比率(%)		130.4	135.6	△ 5.2	—	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}}$	
職員1人1日当たり患者数(人)	医師	入 院	3.9	4.2	△ 0.3	△ 7.1	(入院) $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延職員数}}$
		外 来	5.1	5.7	△ 0.6	△ 10.5	
	看護部門	入 院	0.9	0.9	0.0	0	(外来) $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延職員数}}$
		外 来	1.2	1.2	0.0	0	
患者1人1日当たり診療収入(円)	入 院	45,290	45,092	198	0.4	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	
	外 来	12,426	12,219	207	1.7	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	
100床当たり職員数(人)	医 師	17.1	16.1	1.0	6.2	$\frac{\text{年度末職員数}}{\text{年度末病床数(実働可能病床数)}} \times 100$	
	看護部門	74.4	77.9	△ 3.5	△ 4.5		
	給食部門	1.0	1.0	0.0	0		
	事務部門	7.0	7.0	0.0	0		
	その他	16.6	16.1	0.5	3.1		
	全職員	116.1	118.1	△ 2.0	△ 1.7		
職員給与費対営業収益比率(%)		46.7	46.5	0.2	—	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}}$	
薬品費対営業収益比率(%)		9.6	9.4	0.2	—	$\frac{\text{薬品費}}{\text{営業収益}}$	

※ 平均在院日数 = 当年度中延べ在院患者数 / (当年度中の新入院患者数 + 当年度中の退院患者数) × 1 / 2

(注) 1 職員給与費には、賃金等は含んでいません。

2 単位が%の場合、比率の数値は、各算式 × 100 である。

第 2 表 損 益 計 算 書 年 度 比 較 表

病院事業

区 分	借		方	
	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度	増 減 額	対前年 度比率
	金 額	金 額		
	円	円	円	%
1 営業費用	4,964,625,787	4,860,648,939	103,976,848	102.1
(1) 給与費	2,844,141,731	2,750,042,304	94,099,427	103.4
(2) 材料費	815,159,606	772,369,701	42,789,905	105.5
(3) 経費	676,158,689	710,647,013	△ 34,488,324	95.1
(4) 減価償却費	615,274,351	616,359,813	△ 1,085,462	99.8
(5) 資産減耗費	4,068,988	1,169,960	2,899,028	347.8
(6) 研究研修費	9,822,422	10,060,148	△ 237,726	97.6
2 営業外費用	224,025,812	229,282,584	△ 5,256,772	97.7
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	108,361,114	112,444,968	△ 4,083,854	96.4
(2) 患者外給食材料費	1,700,318	1,738,517	△ 38,199	97.8
(3) 雑損失	113,964,380	115,099,099	△ 1,134,719	99.0
3 特別損失	10,544,125	18,644,955	△ 8,100,830	56.6
(1) 過年度損益修正損	10,544,125	18,644,955	△ 8,100,830	56.6
合 計	5,199,195,724	5,108,576,478	90,619,246	101.8

区 分	貸		方	
	平成28年度	平成27年度	増 減 額	対前年 度比率
	金 額	金 額		
	円	円	円	%
1 営業収益	4,511,808,568	4,386,914,570	124,893,998	102.8
(1) 入院収益	2,860,903,460	2,753,517,155	107,386,305	103.9
(2) 外来収益	1,023,198,487	1,011,825,592	11,372,895	101.1
(3) その他営業収益	627,706,621	621,571,823	6,134,798	101.0
2 営業外収益	394,360,913	347,728,013	46,632,900	113.4
(1) 受取利息	33,687	22,389	11,298	150.5
(2) 他会計負担金・補助金	311,247,000	244,845,000	66,402,000	127.1
(3) 補助金	1,802,000	2,248,000	△ 446,000	80.2
(4) 患者外給食収益	46,544	75,372	△ 28,828	61.8
(5) 長期前受金戻入	5,035,000	5,362,660	△ 327,660	93.9
(6) その他営業外収益	76,196,682	95,174,592	△ 18,977,910	80.1
3 特別利益	967,558	352,756	614,802	274.3
(1) 過年度損益修正益	967,558	352,756	614,802	274.3
当年度純損失	292,058,685	373,581,139	△ 81,522,454	78.2
合 計	5,199,195,724	5,108,576,478	90,619,246	101.8

第 3 表 貸 借 対 照 表 年 度 比 較 表

病院事業

区 分	借		方		増 減 額	対前年 度比率
	平成 2 8 年度		平成 2 7 年度			
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
	円	%	円	%	円	%
1 固定資産	5,867,578,968	86.4	6,403,441,166	87.6	△ 535,862,198	91.6
(1) 有形固定資産	5,802,297,095	85.5	6,344,487,858	86.8	△ 542,190,763	91.5
ア 土地	41,192,671	0.6	41,192,671	0.6	0	100
イ 建物	5,157,863,385	76.0	5,571,436,662	76.2	△ 413,573,277	92.6
ウ 器械備品	603,028,076	8.9	731,858,525	10.0	△ 128,830,449	82.4
エ 車両	212,963	0.0	—	—	212,963	皆増
(2) 投資	65,281,873	0.9	58,953,308	0.8	6,328,565	110.7
ア 長期貸付金	30,543,120	0.4	24,249,555	0.3	6,293,565	126.0
イ 基金	34,738,753	0.5	34,703,753	0.5	35,000	100.1
2 流動資産	919,848,265	13.6	903,439,136	12.4	16,409,129	101.8
(1) 現金・預金	295,262,260	4.4	265,715,528	3.6	29,546,732	111.1
(2) 未収金	637,958,720	9.4	654,497,844	9.0	△ 16,539,124	97.5
(3) 貸倒引当金	△ 13,401,570	△ 0.2	△ 16,803,091	△ 0.2	3,401,521	79.8
(4) 貯蔵品	28,855	0.0	28,855	0.0	0	100
資 産 合 計	6,787,427,233	100	7,306,880,302	100	△ 519,453,069	92.9

(注) 有形固定資産のうち、償却資産については直接控除方式によって表示している。

28年度減価償却累計額：イ建物2,918,015,713円，ウ器械備品1,197,153,722円

27年度減価償却累計額：イ建物2,509,197,436円，ウ器械備品1,072,111,560円

貸 方						
区 分	平成28年度		平成27年度		増 減 額	対前年 度比率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
	円	%	円	%	円	%
1 固定負債	9,967,120,714	146.9	10,328,588,019	141.3	△ 361,467,305	96.5
(1) 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,103,129,622	89.9	6,372,616,667	87.2	△ 269,487,045	95.8
(2) 他会計借入金	3,092,610,000	45.6	3,233,910,000	44.2	△ 141,300,000	95.6
(3) 退職給与引当金	771,381,092	11.4	722,061,352	9.9	49,319,740	106.8
2 流動負債	1,139,058,120	16.8	1,196,260,199	16.4	△ 57,202,079	95.2
(1) 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	351,287,045	5.2	370,602,407	5.1	△ 19,315,362	94.8
(2) 他会計借入金	291,300,000	4.3	262,300,000	3.6	29,000,000	111.1
(3) 未払金	318,497,020	4.7	393,010,145	5.3	△ 74,513,125	81.0
(4) 賞与引当金	157,130,713	2.3	144,314,225	2.0	12,816,488	108.9
(5) その他流動負債	20,843,342	0.3	26,033,422	0.4	△ 5,190,080	80.1
3 繰延収益	20,635,368	0.3	25,635,368	0.4	△ 5,000,000	80.5
(1) 長期前受金	55,108,457	0.8	55,073,457	0.8	35,000	100.1
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 34,473,089	△ 0.5	△ 29,438,089	△ 0.4	△ 5,035,000	117.1
負 債 計	11,126,814,202	164.0	11,550,483,586	158.1	△ 423,669,384	96.3
1 資本金	7,182,732,307	105.8	6,986,457,307	95.6	196,275,000	102.8
2 剰余金	△ 11,522,119,276	△ 169.8	△ 11,230,060,591	△ 153.7	△ 292,058,685	102.6
(1) 資本剰余金	14,800,000	0.2	14,800,000	0.2	0	100
ア 受贈財産寄附金	14,800,000	0.2	14,800,000	0.2	0	100
(2) 利益剰余金	△ 11,536,919,276	△ 170.0	△ 11,244,860,591	△ 153.9	△ 292,058,685	102.6
ア 当年度未処理欠損金	11,536,919,276	170.0	11,244,860,591	153.9	292,058,685	102.6
資 本 計	△ 4,339,386,969	△ 64.0	△ 4,243,603,284	△ 58.1	△ 95,783,685	102.3
負債・資本合計	6,787,427,233	100	7,306,880,302	100	△ 519,453,069	92.9